

「科学的言論を封じる名誉棄損訴訟判決に対する見解」

2019年3月26日 守れる命を守る会 代表 石渡勇

2018年3月8日の国際女性デーに際し、守れる命を守る会は「子宮頸がんから日本人女性の命と健康を守るための 科学的な言論活動を支援する声明」（別紙）を公表しています。

同声明でも触れたとおり、2016年3月16日、科学的・倫理的に問題の多い厚生労働科学研究班の主任研究者である池田修一信州大学元教授が、「子宮頸がんワクチンを打ったマウスだけに脳に異常な抗体が沈着して、海馬の機能を障害していそうだ」「明らかに脳に障害が起こっている。ワクチンを打った後、こういう脳障害を訴えている患者の共通した客観的所見が提示できている」と説明する映像がTBS「NEWS23」で全国放送されました。これに対し医師でジャーナリストの村中璃子氏は、月刊「Wedge」に「子宮頸がんワクチン薬害研究班 崩れる根拠、暴かれた捏造」と題した記事を寄稿して同研究発表の杜撰さを指摘し、反響を呼びましたが、池田氏は学会や論文など科学の場での反論はいっさい行わず、村中氏やWedge社に対する名誉棄損訴訟を起こしました。

本日はその裁判の第一審判決が下されました。

以下、同裁判と同判決に対する当会の見解を述べます。

1. 同裁判は、科学の問題を名誉棄損の問題にすり替えた裁判であり、当会の科学者・医師たちはこのような行為を容認できない。
2. 同裁判は、司法を悪用して科学不正を隠蔽し、科学的言論を封じるためのものであり、当会の言論に関わる者たちもこのような行為を容認できない。
3. 同判決の内容と、子宮頸がんワクチンの安全性はまったく関係がない。子宮頸がんワクチンの安全性は確立しており、WHO（世界保健機関）も接種を強く推奨している。WHOは今年1月、反ワクチン運動を「国際保健上の脅威」に挙げ、特に反子宮頸がんワクチン運動対策を強化して子宮頸がんの撲滅に取り組むと宣言した。
4. 同判決に関わらず、真実は一つである。池田氏の発表は「マウス1匹（N=1）」の結果に基づくものであり、池田氏が厚労省の成果発表会およびTBS「NEWS23」で示したマウスの脳切片は「ワクチンを接種していない」マウスのものであった。

5. 池田氏の「子宮頸がんワクチンを打ったマウス」「患者の共通した客観的所見が提示できている」というのは存在しない事実である。広辞苑にある捏造の定義「事実でないことを事実のようにこしらえて言うこと」に該当し、一般的な意味においても捏造である。
6. 同裁判では、柳沢正史氏（筑波大学教授、ノーベル医学賞・生理学賞候補）、吉川裕之氏（茨城県立中央病院院長、HPV ワクチン開発でノーベル賞受賞の独ハロルト・ツア・ハウゼン医師に師事）野田起一郎氏（元近畿大学学長・医学部長）も池田氏の発表を「捏造」と評価する意見書を提出している。
7. 2018年ノーベル医学・生理学賞受賞の本庶佑氏は、当会および村中璃子氏の支援者であり、池田氏が名誉棄損だと訴えている村中氏の記事を高く評価している。日本医師会会長の横倉義武氏も日本産婦人科医会会長の木下勝之氏も村中氏の支援者であり、当会が3月8日の国際女性デーに行った子宮頸がんワクチン接種再開と子宮頸がんワクチンをめぐる科学的言論を支援するための会見にもメッセージを寄せている。
8. 池田氏の発表により国民は騙された。そのことに憤る国民は多数おり、ワクチン接種に関する誤った判断を下し、子宮頸がんからワクチンで守られる機会を失った日本人女性も数知れない。同会にもたくさんのメッセージが寄せられている（当会のウェブサイト「署名に寄せられたメッセージ」として計870を掲載している。別紙で一部を紹介する）
9. 信州大の本調査委員会による調査結果の発表（2016年11月15日）では、実験が予備的なものであることを知りながら断定的な発表を行い、世間に大いなる誤解を与えた事実に関する責任は重いとして池田氏に猛省を促し、再現実験と発表の修正を求めた。しかし、2年以上たった今に至っても、再現実験の報告も、発表の修正の報告も目にしない。
10. 厚労省も2016年11月24日、「不適切な発表によって国民に誤解を招く事態となったことについて、池田氏の社会的責任は大きい」との見解を発表している。
11. メディアには、科学的に誤った情報を国民に広げ、その不正な行動を隠蔽するために訴訟を用いている池田氏の主張に惑わされることなく、「国民に正しいメッセージを届ける」ことを強く願う。被告原告の主張の両論併記ではなく、「国民に届けるべきメッセージが何であるか」をよく考えた報道を願う。メディアには、誤った情報に惑わされず、科学的に正しい情報を見極め、選択し、それを国民に届ける責任がある。

以上

配布資料：

- ①「科学的言論を封じる名誉棄損訴訟判決に対する見解」
- ②村中璃子氏コメント
- ③「子宮頸がんから日本人女性の命と健康を守るための 科学的な言論活動を支援する声明」

(3月8日発表)

④「署名に寄せられたメッセージ」(裁判に関わるもののみを抜粋)